

公益社団法人 日本経営工学会
第 34 期第 4 回理事会議事録

日 時：平成 30 年 1 月 27 日(土)15:00～19:00

場 所：東京都市大学 渋谷サテライトクラス 地下 1 階 A 教室

出席者：(理事) 石井和克, 開沼泰隆, 内田耕平, 大久保寛基, 外館晃, 中出康一, 西岡久充,
西村泰一, 辻村泰寛, 中島健一

(監事) 皆川健多郎

欠席者：(理事) 八木英一郎, 片岡隆之 (監事) 河野宏和

議決事項

1. 第 34 期第 3 回理事会議事録の確認の件

庶務担当理事より、(資料：4-1)に基づき、第 34 期第 3 回理事会議事録(案)が提示され、全会一致で承認された。

2. 入会承認の件

会員担当理事より、(資料：4-2)に基づき、正会員 9 名の入会申請が報告され、全会一致で承認された。また再入会会員について、退会した際に会費が未納であった場合は、再入会時に未納分を請求することが確認された。

3. その他

なし

協議事項

1. 技術士 CPD 行事参加票仕様案について

内田副会長より、(資料：4-3)に基づき、技術士 CPD 行事参加票の発行・運用に関するルール案が提示され、全会一致で承認された。

2. 平成 30 年度予算案について

財務担当理事より、(資料：4-24)に基づき、平成 30 年度予算案が提示された。支出超過の予算案であることから、各種委員会、支部、研究部門、研究プロジェクトにて一律 10%の削減を目指して改めて予算案を検討するとともに、収入についても実績に照らし合わせ、できる限り精度の高い案を 2 月中旬までに再度提出するよう要請がなされた。

3. 平成 30 年度事業計画案について

庶務担当理事より、(資料：4-4)に基づき、平成 30 年度事業計画案が提示された。フォーマットや文言などに不備があるため、各種委員会などで再度確認し、修正を加えた上で、継続して審議することとなった。

4. 2018 年春季大会について

庶務担当理事(大会担当理事代理)より、(資料：4-5)に基づき、2018 年度春季大会における予稿集の PDF 化と参加費の値上げ、大会当日の事務局からの派遣についての提案がなされた。大会については、過去 3 回の大会収支が赤字であることに対する原因分析と再発防止策が不十分であり、そのような状況での大会予稿集の PDF 化、及び参加費の値上げの議論は尚早であるとの意見が出された。まず再発防止策を講じた 2018 年春季大会の予算案を次回理事会にて提示することが

依頼された。さらに予稿集の PDF 化、及び参加費の値上げについては、PDF 化の方法や運用方法に不明点があること、会員や大会組織委員会への周知が不十分なこと、参加費値上げには赤字解消だけでなく、サービス向上が伴う必要があることなど議論が不十分な点が多く、継続して審議することとなった。なお、大会当日の事務局からの派遣については、理事会で審議する内容ではないことから大会委員会と財務委員会で検討することとなった。

5. 2018 年秋季大会・2019 年春季大会について

庶務担当理事(大会担当理事代理)より、(資料：4-5)に基づき、2018 年秋季大会、及び 2019 年春季大会の開催校と開催日が提案され、全会一致で承認された。ただし大会開催日が関連学会と重複している場合は、大会参加者数が減少する可能性があることから、関連学会の大会開催日を次回以降の理事会で報告するとともに、もし大会が競合している場合は参加者の確保をどうするかを検討することとなった。

6. 大会細則の改訂について

庶務担当理事(大会担当理事代理)より、(資料：4-5)に基づき、大会細則の改訂についての提案がなされた。協議事項 5 の大会参加費の値上げに関わる細則の改訂であり、協議事項 5 が継続審議となったため、本件も継続して審議されることとなった。

7. 今後の日本 IE 協会との大会の共催について

庶務担当理事(大会担当理事代理)より、(資料：4-5)に基づき、今後の日本 IE 協会との大会の共催についての提案がなされ、今後も共催を続けるという骨子については全会一致で承認された。ただし、具体的な共催の方法については、これまでの結果をレビューしたうえで、検討する必要があることから継続して審議することとなった。

8. 規程類および関連団体との協定書類の管理ルールについて

庶務担当理事より、(資料：4-6)に基づき、規程類の管理ルールについての報告がなされるとともに、新たに関連団体との協定を締結した書類の管理ルールについて提案がなされた。協定書類の原本は事務局で保管するが、同時に、庶務委員会でも協定書類の複製と台帳を保管していくことが全会一致で承認された。

9. 著作権規則の改訂について

庶務担当理事より、(資料：4-7)に基づき、著作権規則の改訂案が提示され、全会一致で承認された。

10. 研究部門について

研究担当理事より、(資料：4-8)に基づき、来年度からの研究プロジェクトの分離に伴って経営数理部門の廃止や他部門との統合が検討されていることが報告された。研究部門は会員や論文誌にも関わる重要な位置づけであることから、研究部門運営細則だけに則って廃止・統合を進めて良いかどうかの懸念が提起された。研究部門の名称変更や統合は時代の要請とともに当然検討されるべきであり、各研究部門から自発的に部門名の変更などを研究委員会、あるいは理事会に上程することを含め、研究部門運用細則に則って運用することが確認された。また、研究プロジェクトの分離に伴う研究部門と研究プロジェクトの関係については、研究委員会にて再度検討することとなった。

11. JIS 生産管理用語改訂

研究担当理事及び国際渉外担当理事より、(資料：4-9)に基づき、JIS 生産管理用語改訂についての説明がなされた。まずは研究部門長に改訂の必要性があるかどうかを確認した上で、今後の方向性について継続して審議することとなった。

12. JIMA-KIIE Agreement について

国際渉外担当理事より、(資料：4-10)に基づき、JIMA と KIIE との Agreement 案が提示され、意見などがある場合は、2018 年 2 月 9 日(金)までに国際渉外担当理事に連絡することが確認された。併せて JIMA と CIIE との MOU が 2017 年 12 月 4 日に締結・調印されたことも報告された。

13. JABEE 経営工学分野審査員について

国際渉外担当理事より、(資料：4-11)に基づき、FMES へ JABEE 経営工学分野審査委員会委員候補者 2 名を推薦する必要があることが報告され、渡邊一衛氏、辻村泰寛氏を JIMA として推薦することが全会一致で承認された。

14. 2018 年度理事会開催日(案)について

庶務担当理事より、(資料：4-12)に基づき、2018 年度理事会開催日(案)が提示された。理事会開催時刻を 15 時から 14 時に変更すること、及び第 6 回・第 7 回・第 8 回・第 10 回の日程は全会一致で承認された。ただし、第 9 回は 2018 年秋季大会前後、第 11 回は 2019 年春季大会前後での開催が提案されたことから、大会計画と併せて調整することとなった。

15. その他

なし

報告事項

1. 会員担当理事より、(資料：4-2)に基づき、退会についての報告がなされた。
2. 内田副会長より、(資料：4-13)に基づき、経営工学 3 団体連携講演会についての報告がなされた。
3. 内田副会長より、(資料：4-14)に基づき、経営工学 3 団体連携覚書作成作業の進捗についての報告がなされた。
4. 会員担当理事より、(資料：4-15)に基づき、会員増員へのアクションプラン提言シートとりまとめ状況についての報告がなされた。
5. 会員担当理事より、(資料：4-16)に基づき、プレ会員登録と有効利用についての報告がなされた。
6. 財務担当理事より、(資料：4-25)に基づき、第 3 四半期予算執行報告がなされた。併せて、第 4 四半期の決算見込みを 2 月末までに提出するよう要請がなされた。
7. 庶務担当理事(大会担当理事代理)より、(資料：4-5)に基づき、2017 年秋季大会についての報告がなされた。
8. 国際渉外担当理事より、(資料：4-17)に基づき、2017 年度 FMES シンポジウム報告がなされた。
9. 国際渉外担当理事より、(資料：4-18)に基づき、APIEMS2019 年度開催地についての報告がなされた。開催に際して JIMA に一時的な運営資金の提供(貸与)の依頼があったことから、

APIEMS2019 実行委員会側に事業計画の提示やオブザーバーとしての理事会出席を求めることとなった。

10. 国際渉外担当理事より、(資料：4-19)に基づき、国内協賛行事アナウンスについての報告がなされた。
11. 国際渉外担当理事より、(資料：4-20)に基づき、協賛行事報告がなされた。
12. 人材育成担当理事より、(資料：4-21)に基づき、東京・大阪開催の“技術士を目指そう会”についての報告がなされた。
13. 人材育成担当理事より、(資料：4-21)に基づき、経営工学関連人材の育成に関わる規格についての報告がなされた。
14. 人材育成担当理事より、(資料：4-21)に基づき、実践教育プログラム第 2 回目についての報告がなされた。
15. 企画・行事担当理事より、(資料：4-26)に基づき、第 3 回産学連携研究交流会についての報告がなされた。
16. 論文誌編集担当理事より、(資料：4-22)に基づき、掲載料・別刷代請求一覧についての報告がなされた。
17. 代表理事より業務執行状況について報告がなされた。まず石井会長から(資料：4-23)に基づき報告がなされた。開沼副会長からは、第 3 四半期の予算執行報告のとりまとめ、来年度予算案の作成を行った旨の報告がなされた。内田副会長からは、会員増員のためのアクションプランの整備、来年度予算案の作成、会員名簿提供に関する情報セキュリティ関係の内容整備、経営工学 3 団体連携覚書の調整・講演会の準備、技術士 CPD 行事参加票の提案などを行った旨の報告がなされた。
18. その他
 - 庶務担当理事より、(資料：4-27)に基づき、内閣府への事業内容変更届についての報告がなされた。

※次回第 34 期第 5 回理事会は、平成 30 年 3 月 10 日(土)15:00～18:00、金沢工業大学虎ノ門キャンパス 1112 教室にて開催する。

議 長 石井 和克 印

議事録署名人 皆川 健多郎 印